

# 第 3 章

## 地域別構想

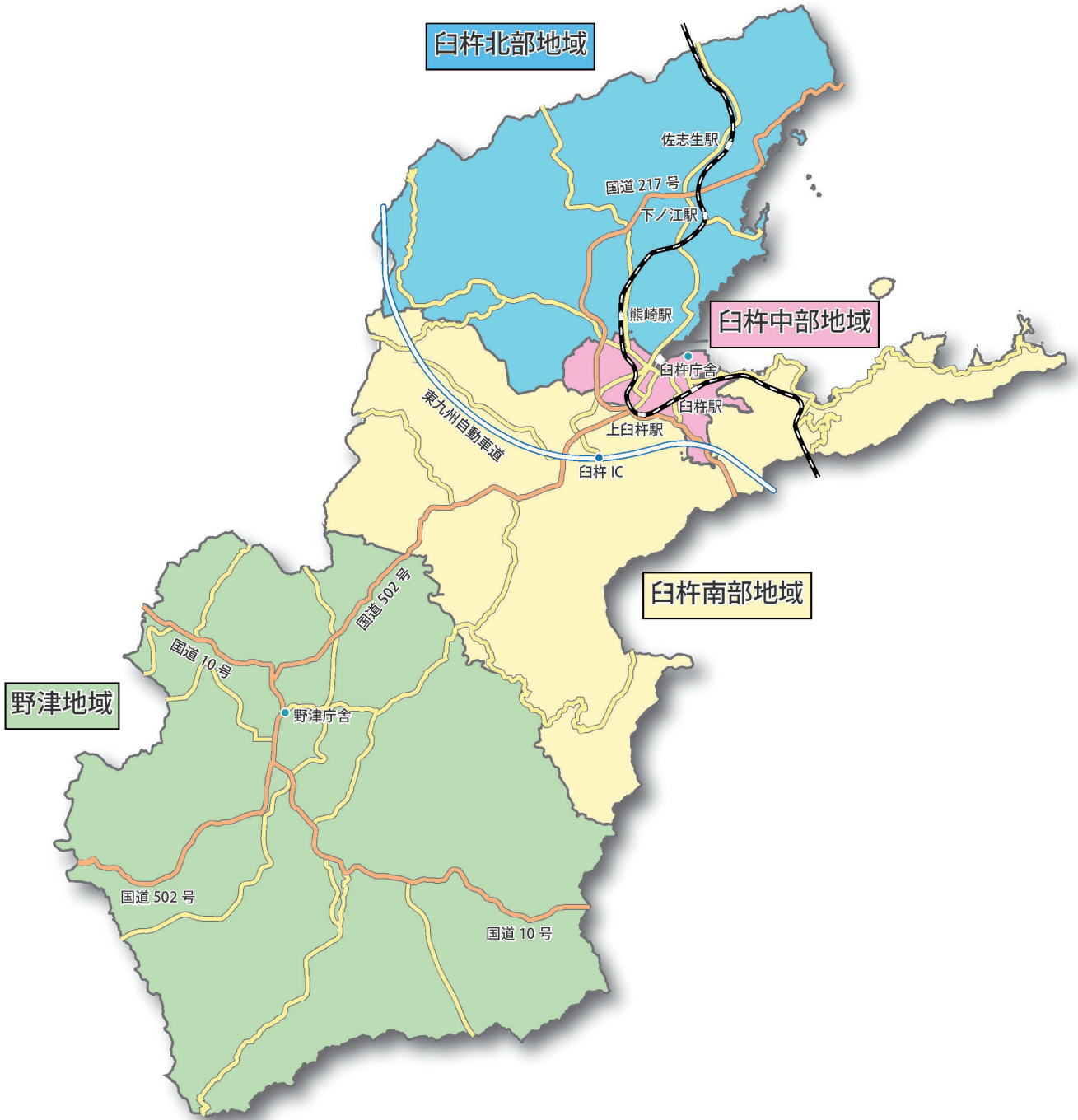


USUKI CITY  
Master Plan Concerning City Planning

# 1 地域区分

地域別構想を策定するにあたり、市街地のまとまりや地域固有の問題・課題等から、臼杵市を下図のように「臼杵北部地域」、「臼杵中部地域」、「臼杵南部地域」、「野津地域」の4地域に区分します。

■地域区分図



## (1) 臼杵北部地域の現況と課題

## 1) 臼杵北部地域の現況

- 臼杵北部地域は、本市の北側に位置し、大分市との境界から広がる山地が海岸近くまで迫る地形となっています。
- 臼杵湾には津久見島、黒島等の島々を望むことができ、リアス式海岸と一体となって良好な海岸風景を形成しています。
- 主な市街地・集落地は複雑なリアス式海岸沿いに点在していますが、鉄道駅周辺や幹線道路沿道にも比較的まとまった集落地が形成されています。
- 藤河内地区、大野地区、田井地区、下ノ江地区の山林部に指定された用途地域については、かつて大規模な住宅団地が計画された際に指定されたものですが、その後、開発されることなく現在も山林のままとなっています。
- 諏訪地区の臼杵市総合公園においては、市のスポーツ拠点としての整備、遊具のリニューアル、防災設備の整備が進められています。
- JR 熊崎駅周辺のように、道路や下水道の整備されていない集落が多くあります。
- リアス式海岸は、日豊海岸国定公園や豊後水道県立自然公園に指定されています。

## 2) 市民・中学生アンケート

市民	中学生
買い物の行き先は『 <b>中心市街地</b> 』（臼杵中部地域）へ買物に行くことが多い	買い物の行き先は『 <b>中心市街地</b> 』（臼杵中部地域）へ買物に行くことが多い
自宅からの避難場所・避難経路を『 <b>知っている</b> 』、『 <b>決めている</b> 』が多く、防災意識が高い	自宅からの避難場所・避難経路を『 <b>知っている</b> 』、『 <b>決めている</b> 』が多く、防災意識が高い
『 <b>若い世代の定住</b> 』、『 <b>交通利便性の良さ</b> 』のニーズが高い	『 <b>道路や歩道が充実したまち</b> 』、『 <b>人と人とのふれあいのまち</b> 』、『 <b>災害に強いまち</b> 』のニーズが高い

## 3) 市民検討会の意見

項目	意見
活性化と魅力向上のための拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の特性を活かした拠点づくりによる地域の活性化</li> <li>■ 海岸風景の活用（浜辺・公園・黒島）</li> <li>■ 公共施設跡地の活用による癒しエリア（医療機関・福祉施設）</li> </ul>
住みやすいまちづくりによる移住者の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空き家を活用したシェアハウス等</li> <li>■ 海岸沿いの建物の建替え規制の緩和</li> </ul>
臼杵の魅力を活かした、観光客の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空き家を活用した宿泊施設</li> <li>■ 海岸風景を活かしたコースづくり</li> </ul>
人々が助け合う、災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ハード（防潮堤等）、ソフト（避難訓練等）を組み合わせた防災対策</li> <li>■ 様々な機能をもった地域の防災拠点</li> </ul>

## 4) 臼杵北部地域の課題

### ■ 都市防災に関する課題

- 平坦地がほとんどない漁村集落では、急峻な斜面地に建物が密集しており、独特な漁村景観を形成している一方で、災害時の危険性が懸念されます。
- 大雨等による影響により熊崎川や末広川等において浸水被害が発生しています。河川改修等を実施していますが、今後も水害、土砂災害等への対応が必要です。

### ■ 土地利用に関する課題

- 地域コミュニティの形成を図る交流拠点づくりを行い、これを活かした地域活性化を目指すことが必要です。
- 藤河内地区、大野地区、田井地区、下ノ江地区の山林部に指定された用途地域指定解除の検討が必要です。
- 空き家・空き地・公共施設跡地等の低・未利用地の利活用について、今後も検討が必要です。

### ■ 交通体系に関する課題

- 海岸沿いには密集した漁村集落が位置しています。漁村集落を結ぶ道路は、狭隘区間のある道路となっており、市街地へのアクセス性の向上が必要です。
- 建築物が密集している漁村集落や道路・下水道等の生活基盤が不足している集落地では、居住環境の改善が必要です。

### ■ 公園緑地や自然環境保全に関する課題

- 臼杵市総合公園においては、避難場所としての役割を担いつつ、防災機能の整備を進めるほか未整備区域の整備検討が必要です。

### ■ 都市景観に関する課題

- 佐志生地区における海岸線沿いの浜辺や公園では、主に夏季の利用者が増加している一方で、下北地区の古くから湯治場として親しまれてきた六ヶ迫鉱泉の利用者は近年減少しており、利用者の増加が必要です。
- 臼杵北部地域の魅力となっている海岸風景を活かした取組みが必要となっています。



黒島



# 臼杵北部地域の現況と課題



凡例			
地域の現況と課題			
	地域界		学校
	用途地域界		歴史資源
	自動車専用道路		景観資源
	主要幹線道路		主な山頂
	都市幹線道路		
	鉄道		



## (2) 臼杵北部地域の将来像

リアス式海岸沿いに市街地・集落が点在する臼杵北部地域は、内陸部を通る幹線道路によって連絡される構造となっていますが、今後は、海岸に沿った連携軸の強化を図ることにより、海に面して一体性を持つような地域構造を目指します。

また、未広川対岸の臼杵中部地域、臼杵南部地域、隣接する大分市との連携軸の強化により、臼杵北部地域から地域外へと円滑に移動できるような地域構造の形成を目指します。

臼杵北部地域では、地域の特性である「海」を活かしたまちづくりを進めていくこととし、地域の将来像を以下のように設定します。

### ■ 臼杵北部地域の将来像

**美しい海岸風景が人々・地域をつなぐ、  
憩い癒されるまち**

## (3) 臼杵北部地域のまちづくりの方針

### 1 都市防災

- 津波被害を軽減するための整備を促進し、防災機能の向上を図ります。
- 熊崎川や未広川等の河川は、浸水被害軽減に向けた河川改修等を促進します。
- 山間部における土砂災害の危険性がある区域においては、土砂災害防止法に基づく特定開発行為の制限等による適切な土地利用誘導を図ることにより、危険性の軽減に向けた対策を行います。

### 2 土地利用

- コミュニティセンターを交流拠点に位置づけ、市民や観光客等が交流できる場づくりを推進させ、地域活性化を図ります。
- 既存住宅地については、中・低層住宅地として良好な居住環境の保全・創出を図るほか、生活道路、下水道等の生活基盤の整備を計画的に進めます。
- 下北地区・下ノ江地区の工業地域については、周辺の自然環境や住宅地と調和する緑豊かな産業地の創出を図ります。
- 空き家や公共施設の跡地等においては民間活力の導入を検討しつつ、多様な用途への活用により、地域の魅力創出を図ります。
- 農村集落の形態を残したままの住宅地においては、土地区画整理事業の実施や地区計画等の導入も検討しながら、必要に応じて道路の整備や新たな宅地の整備を図ります。



下ノ江地区 造船場

- リアス式海岸に点在する漁村集落では、道路拡幅や新たな道路整備を推進するとともに、道路幅員が狭く建築物の建て替えが困難な地区では、建築基準法緩和の可能性等も検討し、漁村集落の景観保全と地域コミュニティの維持に努めます。
- 市街地・集落地の背後に広がる自然豊かな山地については、良好な自然環境と市街地から眺望される景観を保全し、住居系用途地域が指定されている藤河内地区、大野地区、田井地区、下ノ江地区については、自然環境の保全と用途地域の指定解除について検討します。

### 3 交通体系

- 臼杵北部地域の骨格となる国道 217 号、そして国道から放射状に伸びる県道、市道等については、臼杵中部地域や周辺都市と連絡する道路として、必要に応じて拡幅・改良等を促進します。
- 海岸周辺部における集落地については、災害発生時に迅速な避難が可能となる道路が必要であり、危険区間の改良等により安全性・走行性の向上を目指し、整備充実を図ります。
- JR 熊崎駅、JR 下ノ江駅、JR 佐志生駅の 3 駅については、駐車場及び駐輪場の整備確保、待合空間の整備により利用者増加を図ります。
- その他県道、市道についても、周辺地域との連携強化を図るため、必要に応じて計画的に拡幅・改良等を促進します。

### 4 公園緑地や自然環境保全

- 臼杵市総合公園については、市民のスポーツ活動のための拠点として位置づけ、既存施設の維持充実、駐車場の拡充、備蓄倉庫等の整備により災害時の避難場所としての機能充実を図ります。
- 諏訪海岸・洲崎海岸については、水生生物の生息環境の保全を図るとともに、浸水対策を推進します。
- 日豊海岸国定公園、豊後水道県立自然公園に指定された海岸部については、市街地に近い貴重な自然緑地として保全を図ります。
- 本市と大分市を結ぶ（県）臼杵坂ノ市線沿道において連続した桜並木の整備を進めるとともに、六ヶ迫鉱泉（温泉）周辺における休憩施設等の整備について検討します。

### 5 都市景観

- 地域内の海岸については、その環境や特性に応じて人々が憩う空間の整備を進めていきます。このうち、黒島及び浜辺や公園においては、利用者増大に向けて海水浴場を中心とした整備を図ります。
- 浜辺や公園、黒島、造船場等が位置するリアス式海岸の風景やそれらを取り囲むように位置する山林、農地、河川といった都市景観を保全・活用します。

# 臼杵北部地域の整備方針図



凡例	
	地域界
	用途地域界
	自動車専用道路
	主要幹線道路
	都市幹線道路
	都市計画道路 未整備 現道あり
	鉄道
	産業・物流施設地
	一般住宅地
	農業集落地
	山地・丘陵地
	公園
	河川
	交流拠点
	レクリエーション拠点
	地域資源



## 3 臼杵中部地域

### (1) 臼杵中部地域の現況と課題

#### 1) 臼杵中部地域の現況

- 臼杵中部地域は臼杵市街地中心部に位置し、臼杵川沿いに広がる平坦地と臼杵湾の埋立地の周囲を丘陵地・山地が囲む地形となっています。
- 県史跡臼杵城跡の城下町として発展してきた経緯から、臼杵市街地には伝統的建造物が数多く残り、特に二王座付近には昔ながらの城下町の街なみが今も色濃く残されています。
- 商業業務地や住宅地については、これら城下町を取り囲むように形成されており、主に埋立地や丘陵地を中心とするエリアに立地しています。
- 丘陵地や台地では、農村集落の形態を残したまま市街地が形成されてきたため、狭隘な道路が多く、農地と住宅地が混在したままの土地利用となっています。
- 江無田地区では、市街地の骨格となる幹線道路の整備が遅れており、部分的な住宅開発によってスプロール状に市街地が形成されています。
- 幾多の歴史を積み上げてきた県史跡臼杵城跡が位置している臼杵公園は、既存施設の維持・補修や避難路等の防災機能の整備が進められています。
- 臼杵港では、フェリーターミナルの移転に向けて、新たな埠頭の整備が進められています。

#### 2) 市民・中学生アンケート

市民	中学生
自宅からの避難場所を『知っている』、方が多く、防災意識が高い	自宅からの避難場所・避難経路を『知っている』、『決めている』方が多く、防災意識が高い
まちづくりにおいて『八町大路周辺の商店街の活性化』が重要	『河川のきれいなまち』のニーズが高い
災害に強いまちづくりにおいては『洪水・浸水への対策』が重要	臼杵市について『好き』と評価した方が多い

#### 3) 市民検討会の意見

項目	意見
活性化と魅力向上のための拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の特性を活かした拠点づくりによる地域の活性化</li> <li>■ フェリーを活用した物流拠点づくり。四国、中九州の連携</li> </ul>
住みやすいまちづくりによる移住者の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高齢者向け住宅など住む場所の提供</li> <li>■ 安心して使える施設の整備（バリアフリー、公共トイレ等）</li> <li>■ 交通事故防止、渋滞緩和のため、自動運転に対応した道路整備</li> </ul>
臼杵の魅力を活かした、観光客の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 歴史的景観保全と、新しい施設の景観誘導</li> <li>■ 寺社等を活かしたコースづくり</li> <li>■ 子ども、若者が魅力を感じる遊び場</li> </ul>
人々が助け合う、災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ハード（防潮堤等）、ソフト（避難訓練等）を組み合わせた防災対策</li> <li>■ 行楽地の機能をもった避難場所</li> </ul>

## 4) 臼杵中部地域の課題

### ■ 都市防災に関する課題

- 大雨等による影響により臼杵川等において浸水被害が発生しており、水害・土砂災害等への対応が必要です。
- 津波浸水、河川浸水、土砂災害等による自然災害の影響が大きい立地特性であり、災害リスクに配慮した防災対策を実施することが必要です。

### ■ 土地利用に関する課題

- 臼杵市街地では、コンパクトで持続可能なまちづくりを展開するために都市機能を集約していくことが必要です。
- 地域コミュニティの形成を図る交流拠点づくりを行い、これを活かした地域活性化を目指すことが必要です。
- 臼杵港の新埠頭は、市街地との連携や賑わいの創出を目指す必要があります。
- 空き家、空き地、空き店舗等の発生や骨格となる道路の不足等を改善するため居住環境の向上が必要です。

### ■ 交通体系に関する課題

- 臼杵港のフェリーターミナル移転に伴い、交通処理を円滑にするアクセス道路の整備が必要です。
- 戸室地区、江無田地区、市浜地区等における住宅地は、市街地がスプロール状に形成しているため骨格となる道路が必要です。
- 大型車両や生活車両の交通処理または交通量を抑制するための対策は遅れており、通過交通流入等の影響に伴う市街地内の交通混雑の発生や騒音・振動等の改善が必要です。

### ■ 公園緑地や自然環境保全に関する課題

- 臼杵公園は、避難場所としての役割を担うため防災機能の向上を図るほか、景観に配慮した適切な維持管理が必要です。

### ■ 都市景観に関する課題

- 城下町、寺院やその周辺では、新しい施設の整備に伴う景観の阻害を防ぎ、城下町の景観を今後も保全・活用することが必要です。
- 市街地から眺望される津久見島は、本市特有の景観であるため保全・活用することが必要です。

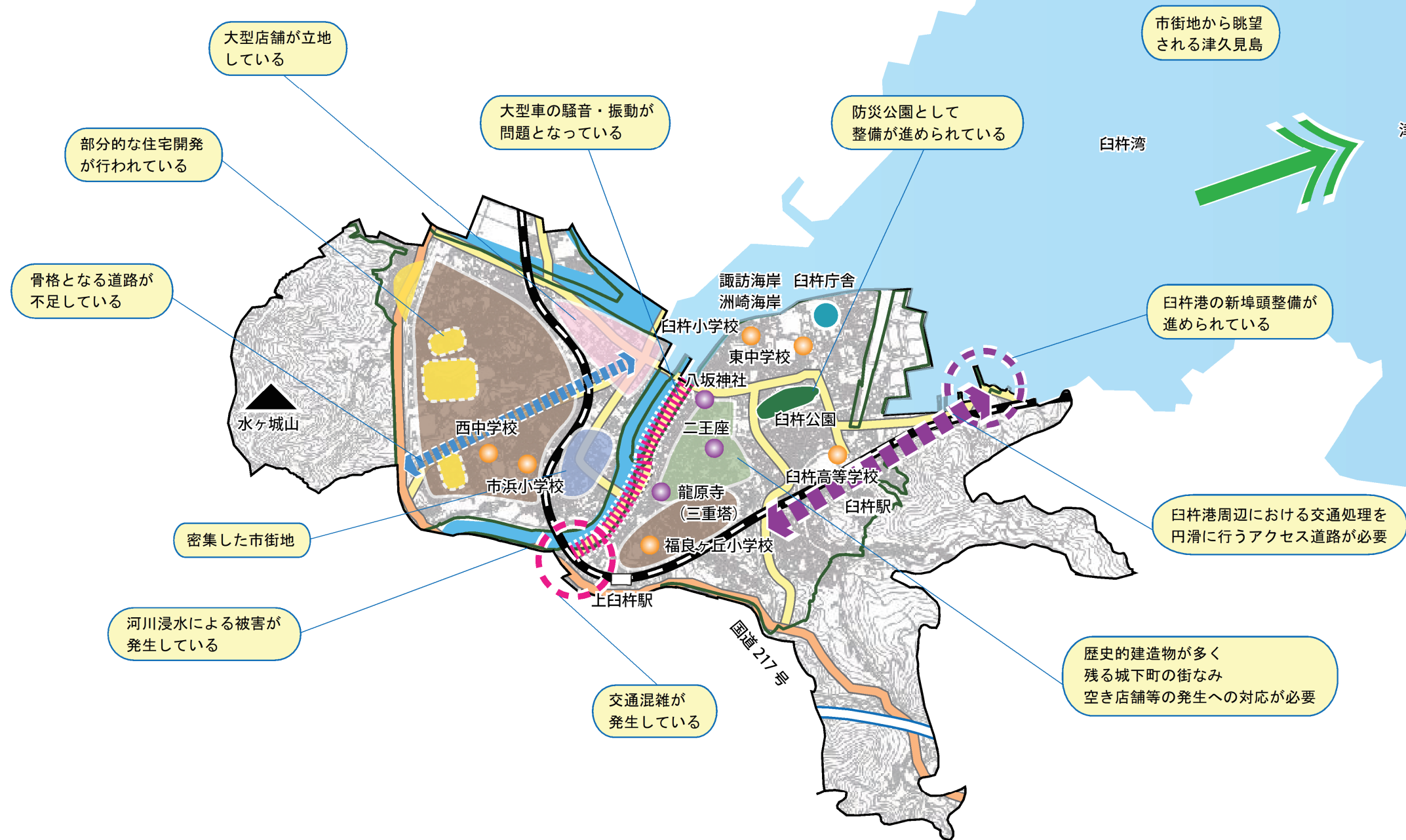
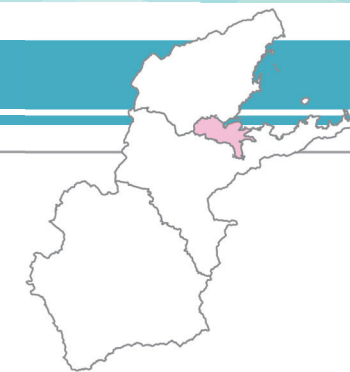


野上弥生記念館



県史跡臼杵城跡（臼杵公園）





凡例			
地域の現況と課題			
	地域界		学校
	用途地域界		歴史資源
	自動車専用道路		景観資源
	主要幹線道路		主な山頂
	都市幹線道路		
	鉄道		

## (2) 臼杵中部地域の将来像

臼杵中部地域は、臼杵庁舎をはじめとする公共施設が集積する市街地であり、多くの歴史的建築物が建ち並ぶ城下町です。このような地域特性を踏まえつつ、鉄道駅等の交通利便性を利用した「城下町」を活かすまちづくりを進めるとともに、本市の中心部への都市機能の集積を図り、周辺地域と連携した都市構造の形成を目指します。また、歴史ある城下町周辺においては、歩いて暮らせる回遊性の高い地域構造の形成を進めていくこととし、臼杵中部地域では、地域の特性である「城下町」を活かしたまちづくりを進めていくこととし、地域の将来像を以下のように設定します。

### ■ 臼杵中部地域の将来像

## 城下町の歴史を未来に引き継ぐ、 都市機能が集積したまち

## (3) 臼杵中部地域のまちづくりの方針

### 1 都市防災

- 津波被害を軽減するための整備を促進し、防災機能の向上を図ります。
- 臼杵川や末広川等の河川は、浸水被害軽減に向けた河川改修等を促進するとともに、下水道施設においては排水能力及び耐震性の向上を推進します。
- 山間部における土砂災害の危険性がある区域においては、土砂災害防止法に基づく特定開発行為の制限等による適切な土地利用誘導を図ることにより、危険性の軽減に向けた対策を行います。
- 景観形成防火地区に指定されている密集市街地においては、歴史的な建築物及び良好な景観を維持し安全な市街地形成を図るため、建築物の防火性能の強化、防火設備等の整備、オープンスペースの確保を行います。
- 臼杵庁舎、臼杵消防署、市浜地区コミュニティセンターを災害予防や復旧・復興等の防災拠点とし、防災機能の充実を図ります。

### 2 土地利用

- 城下町周辺を交流拠点に位置づけ、市民や観光客等が交流できる場づくりを推進させ、地域活性化を図ります。
- 臼杵市街地の中心商業地では、小売業・飲食業を中心とした商業機能の集積・充実、そして歴史的街なみを回遊する歩行空間の整備を図ることによって、観光客・買い物客の増加や地域活性化に向けた取組みを図ります。また、商店街等については、空き家・空き店舗等の利活用を検討し、新たな魅力づくりを推進します。

- 臼杵庁舎周辺の中心業務地では、街なかの歴史文化施設や観光案内施設、休憩施設とも連携を図りながら、公共施設のバリアフリー化や防災機能の向上を図るとともに、臼杵市街地及び地域の活性化に寄与するため機能充実を目指します。
- 臼杵港周辺においては、既存の造船所の操業環境の維持に努めるほか、港湾改修事業の推進により港湾・物流機能の向上を図ります。
- 国道・県道沿道の複合商業業務地については、中心商業地との役割分担を明確にしつつ、比較的大型の商業施設、業務施設、沿道サービス施設、及び中層マンションなど複合的な都市機能の集積を図ります。
- 中心商業地や中心業務地を取り巻く一般住宅地では、中・低層住宅地として良好な居住環境の保全・創出を図るほか、生活道路、下水道等の生活基盤の整備を計画的に進めます。
- 江無田地区・戸室地区、福良地区では、地域内の骨格となる道路が不足し、農地や空地が混在した土地利用となっているため、骨格となる道路の整備とあわせて計画的に良好な市街地形成を図ります。
- 住宅が密集し、道路の拡幅や新たな道路の整備が困難な地区においては、土地区画整理事業の実施や地区計画等の導入の可能性も検討しながら、居住環境の改善や災害危険性の軽減を図ります。
- 空き家や公共施設の跡地等においては民間活力の導入を検討しつつ、多様な用途への活用により、地域の魅力創出を図ります。
- 海岸部に点在する漁村集落地域においては、自然災害への対応や漁場環境等の保全を図ります。
- 平地部の水田と台地部の畑については、優良な農地の保全を図ることとし、地域の実情に応じて、道路や下水道等の整備が不十分な集落の生活環境改善に努めます。



街なかの伝統的建造物群

### 3 交通体系

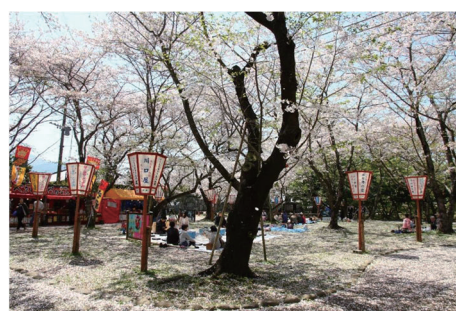
- 国道 217 号、国道 502 号については、朝夕における交通混雑の解消のために、交差点付近の拡幅整備や交差点改良等を促進します。
- 県道、市道についても、周辺地域との連携強化を図るため、必要に応じて計画的に拡幅・改良等を促進します。
- 市街地内の骨格となる都市計画道路については、今後、代替ルートの整備可能性も検討しつつ、未整備区間の整備推進や未着手路線のあり方について検討します。
- 港湾から広域幹線道路へと円滑な交通処理を行う（仮称）臼杵海浜線の整備構想に関する検討を引き続き行い、整備の必要性、整備時期、及び具体的線形・ルートについても、関係機関等との調整・協議を重ねながら検討します。
- 臼杵港新埠頭整備に伴い、港湾からの交通処理を円滑にするため、（都）畳屋板知屋線（港町～板知屋間）の拡幅・改良等による整備を促進するとともに、（都）祇園洲竹場線に必要な整備内容を検討します。また、交通結節機能を有する臼杵港は、臼杵市街地及び四国方面との連携強化を図るため、公共交通の維持・充実や利用促進を図ります。



- 海岸周辺部における集落地については、災害発生時に迅速な避難が可能となる道路が必要であり、狭隘区間の改良等により安全性・走行性の向上を目指し、整備充実を図ります。
- 公共交通の交通結節機能を有する JR 臼杵駅は、交通拠点として市内外のアクセシビリティ向上、臼杵駅前交差点の拡幅・改良、待合空間等の再整備を促進します。また、JR 上臼杵駅については、駐車場及び駐輪場の整備確保、待合空間の整備により利用者増加を図ります。
- 中心商業地及び中心業務地内や臼杵川沿いを中心として歩行者道路の整備推進を図るほか、通学路や医療福祉施設周辺においては、歩道の設置やバリアフリー化を推進します。

## 4 公園緑地や自然環境保全

- 臼杵公園については、臼杵の歴史を学び伝える役割があることから、既存施設の維持や充実を図るとともに、災害時の避難場所として防災機能の充実を図ります。
- 団地開発によって設置された小規模な公園については、周辺地域住民が主体となって、今後の利用促進や施設改善に向けて検討・協議が行われるよう支援します。
- 公園不足エリアや歩行者ネットワークの連続性等を考慮しながら、低・未利用地等を活用した新たな公園の確保・整備の可能性について検討します。
- 市街地・集落地を取り囲む山林については、豊かな自然環境に触れて体験・交流する場として広場やレクリエーション施設等の整備を推進するほか、ハイキングコースの整備・充実に努めます。
- 河川上流においては、ホタル等の生息が確認されている場所も多く見られることから、水質の保全をはじめ周辺の自然環境の保全を図ります。
- 市内の中央部を流れる臼杵川については、親水性も高く比較的広い河川敷を有することから、市民にとって身近な水辺空間整備を図ります。



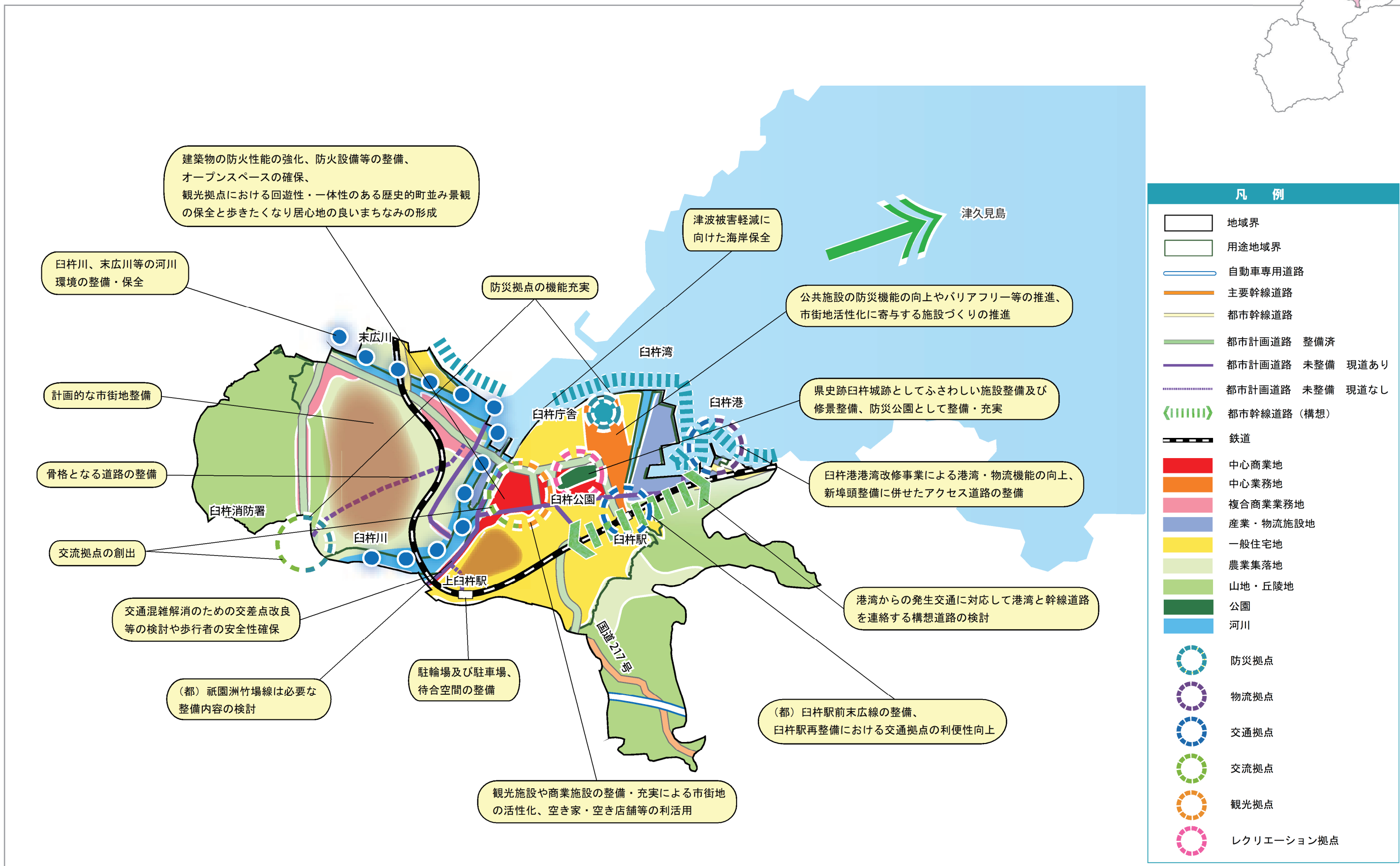
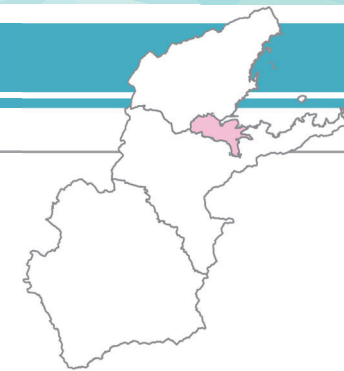
臼杵公園（桜まつり）

## 5 都市景観

- 県史跡臼杵城跡周辺、町屋地区周辺、二王座地区周辺など、城下町としての街なみを残すエリアについては、臼杵市景観条例の運用によって建物の保全を図るほか、大手門を中心とした電線類地中化等の修景整備を進めることで、城下町らしい景観の保全・創出を図ります。また、市街地から眺望される山地の稜線や、津久見島、リアス式海岸等の景観を守るため、地域内の建築物や工作物を対象に、背後地の眺望を考慮した高さ制限を行い、今後も眺望景観の保全を図ります。
- 今後、より積極的かつ具体的に良好な景観形成を図ることを目指して、地区計画の策定等についても検討します。



# 臼杵中部地域の整備方針図



凡例	
	地域界
	用途地域界
	自動車専用道路
	主要幹線道路
	都市幹線道路
	都市計画道路 整備済
	都市計画道路 未整備 現道あり
	都市計画道路 未整備 現道なし
	都市幹線道路 (構想)
	鉄道
	中心商業地
	中心業務地
	複合商業業務地
	産業・物流施設地
	一般住宅地
	農業集落地
	山地・丘陵地
	公園
	河川
	防災拠点
	物流拠点
	交通拠点
	交流拠点
	観光拠点
	レクリエーション拠点



## 4 臼杵南部地域

### (1) 臼杵南部地域の現況と課題

#### 1) 臼杵南部地域の現況

- 臼杵南部地域は臼杵中心部を取り囲むように位置し、大部分が山地や丘陵地が位置する地形となっています。
- 鎮南山、水ヶ城山、諏訪山等の山並みは、市街地から間近に眺望される景観であり、市民にとって自然を身近に感じさせる要素となっています。
- 主な集落地は複雑なリアス式海岸沿いに点在しており、臼杵湾には津久見島等の島々を望むことができ、リアス式海岸と一体となって良好な海岸風景を形成しています。
- 丘陵地や台地は、農村集落の形態を残したまま市街地が形成されてきたため、狭隘な道路が多く農地と住宅地が混在した土地利用となっています。
- 国宝臼杵摩崖仏の周辺では、散策路や休憩施設をはじめ、周辺景観と一体性のある修景整備、本市を代表する観光拠点としての整備充実が図られています。
- 幹線道路沿道の商業施設は、大型商業施設の出店は落ち着き、小規模な新規店舗の立地が進んでいます。
- 用途地域外において、住宅等の建築が行われているケースが多くみられます。
- リアス式海岸は、日豊海岸国定公園や豊後水道県立自然公園に指定されています。

#### 2) 市民・中学生アンケート

#### 3) 市民検討会の意見

市民	中学生
自宅からの避難場所・避難経路を『知っている』、『決めている』方が多く、防災意識が高い	『自然環境の豊かなまち』の満足度は高い
『災害に強いまち』のニーズが高い	『人と人とのふれあいのまち』のニーズが高い
将来、臼杵市に充実してほしい施設には『病院』と回答した方が多く、医療施設のニーズが高い	将来、臼杵市に充実してほしい施設は『店舗（大型商業施設、スーパー、コンビニ等）』と回答した方が多く、ニーズが高い

項目	意見
活性化と魅力向上のための拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域の特性を活かした拠点づくりによる地域の活性化</li> <li>■臼杵インターチェンジ周辺の交通便利性の活用（観光案内・店舗、観光情報等）</li> </ul>
臼杵の魅力を活かした、観光客の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国宝臼杵摩崖仏周辺における観光の魅力づくり、イベントの開催、ウォーキング起点</li> </ul>
人々が助け合う、災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■災害に備えた幹線道路の代替路線の確保（臼杵 IC 使用不可への対応等）</li> <li>■大雨・土砂による自然災害防止対策</li> <li>■災害時に安全な場所へ商業施設等を整備し、災害時における生活を確保</li> <li>■子どもたちの避難訓練等により災害時の対応力を強化</li> </ul>

## 4) 臼杵南部地域の課題

### ■ 都市防災に関する課題

- 大雨等による影響により臼杵川周辺において浸水被害が発生しており、水害・土砂災害等への対応が必要です。
- 平坦地がほとんどない漁村集落では、急峻な斜面地に建物が密集しており、独特な漁村景観を形成している一方で、災害時の危険性が懸念されます。
- 災害発生時の対応を円滑に行うため、臼杵市街地と野津市街地との連携強化が必要です。

### ■ 土地利用に関する課題

- 地域コミュニティの形成を図る交流拠点づくりを行い、これを活かした地域活性化を目指すことが必要です。
- 国道 502 号沿道の商業施設が多く位置するエリアにおいては、臼杵インターチェンジ周辺の交通利便性の活用、商業施設の充実・活用が必要とされています。
- 密集している漁村集落や道路等の生活基盤が不足している集落地は、生活環境を向上させる必要があります。
- 整備された幹線道路沿道では小規模店舗の立地が進んでいますが、地域住民の買物場所として、臼杵市街地内の商店街とどのように機能を分担するかが課題です。
- 空き家・空き地等の低・未利用地の利活用について、今後も検討が必要です。

### ■ 交通体系に関する課題

- 海岸沿いには密集した漁村集落が位置しています。漁村集落を結ぶ骨格となる（県）臼杵津久見線及び（県）大泊浜徳浦線は、狭隘区間のある道路となっており、市街地へのアクセス性の向上が必要です。
- （県）川登臼杵線は、狭隘区間のある道路となっており、臼杵地域と野津地域の連携強化を図るため、アクセス性の向上が必要です。また、（都）野田戸室線は、インターチェンジや市街地の連携強化を図るため、アクセス性の向上が必要です。
- 国道 502 号と国道 217 号の交差点付近は、交通混雑発生に向けた改善が必要です。

### ■ 公園緑地や自然環境保全に関する課題

- 市民や来訪者が多く訪れる臼杵石仏公園においては、観光客増加に向けた交流機能の強化、既存施設の活用による賑わいが必要とされています。

### ■ 都市景観に関する課題

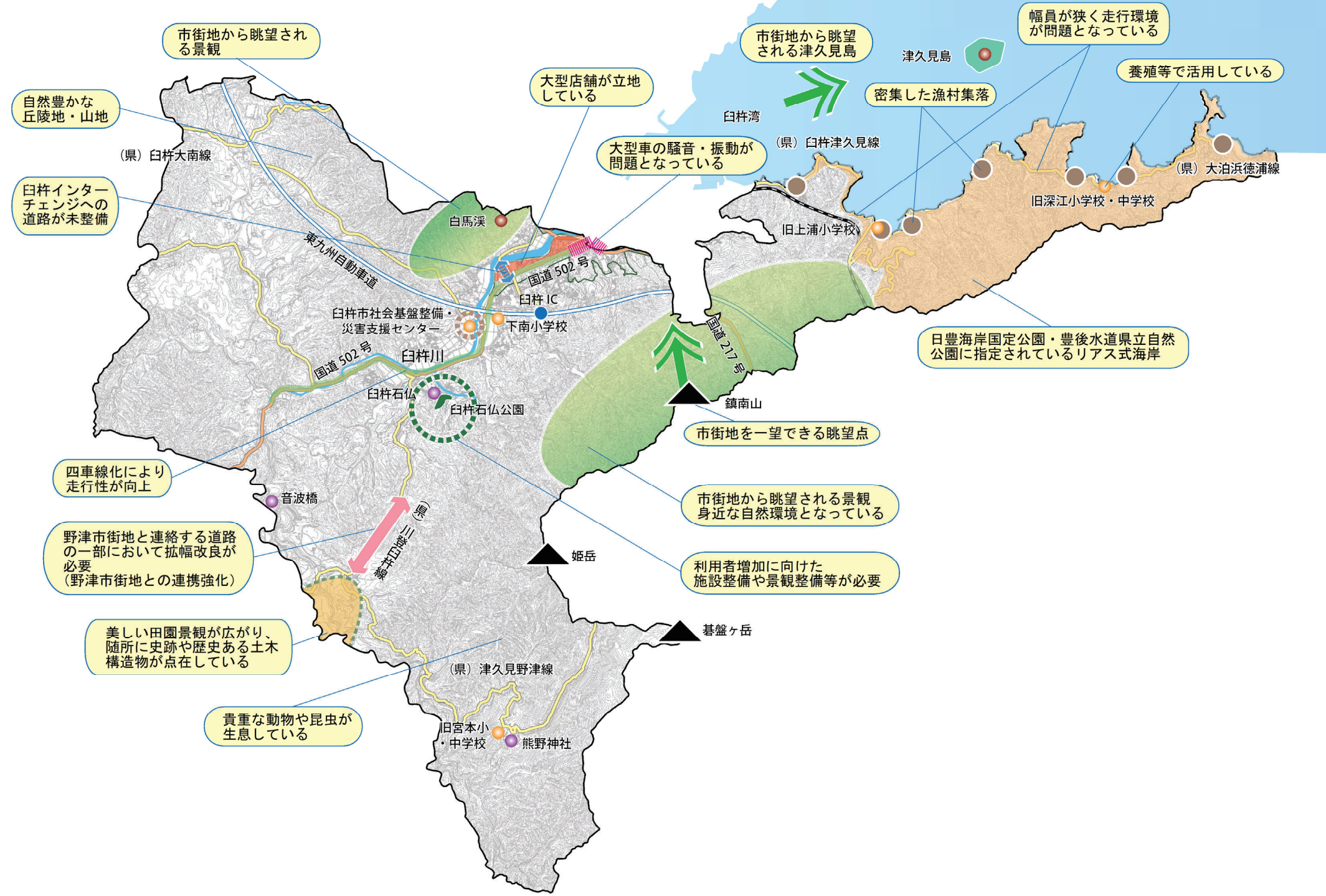
- 市街地を取り囲むように位置する鎮南山や水ヶ城山等の山林、市街地から眺望される津久見島、観光資源となっている白馬溪等の景観を保全・活用する必要があります。



国宝臼杵摩崖仏



# 臼杵南部地域の現況と課題



凡 例			
地域の現況と課題			
	地域界		学校
	用途地域界		歴史資源
	自動車専用道路		景観資源
	主要幹線道路		主な山頂
	都市幹線道路		
	鉄道		

## (2) 臼杵南部地域の将来像

臼杵南部地域は、臼杵インターチェンジ、国道 502 号沿道、国宝臼杵摩崖仏を囲む山地のエリアや市域北東部のリアス式海岸などから構成され、臼杵地域と野津地域と連携した地域として、臼杵インターチェンジからの交通を市街地及び野津地域へ誘導するとともに、市街地及び野津地域から臼杵インターチェンジへの誘導を円滑に行う地域構造を目指します。また、買い物や観光ができ、市民や来訪者が足を運ぶような地域を目指します。

臼杵南部地域では、「国宝臼杵摩崖仏や国道 502 号沿道」を活かしたまちづくりを進めていくこととし、地域の将来像を以下のように設定します。

### ■ 臼杵南部地域の将来像

## 臼杵石仏や交通利便性を活かした、 多様な魅力があふれるまち

## (3) 臼杵南部地域のまちづくりの方針

### 1 都市防災

- 津波被害を軽減するための整備を促進し、防災機能の向上を図ります。
- 臼杵川や田井ヶ迫川等の河川は、浸水被害軽減に向けた河川改修等を促進するとともに、下水道施設においては排水能力及び耐震性の向上を推進します。
- 山間部における土砂災害の危険性がある区域においては、土砂災害防止法に基づく特定開発行為の制限等による適切な土地利用誘導を図ることにより、危険性の軽減に向けた対策を行います。
- 臼杵市社会基盤整備・災害支援センターは、庁舎機能の一部を担い、災害発生時の迅速な復旧・復興等の支援活動の拠点として防災機能の充実を図ります。

### 2 土地利用

- 臼杵石仏公園周辺及びコミュニティセンターを交流拠点に位置づけ、市民や観光客等が交流できる場づくりを推進させ、地域活性化を図ります。
- 国道 502 号沿道の複合商業業務地については、中心商業業務地との役割分担を明確にしつつ、比較的大型の商業施設、業務施設、沿道サービス施設、及び中層マンションなど複合的な都市機能の集積を図ります。



- 一般住宅地では、低層住宅地として良好な居住環境の保全・創出を図るほか、生活道路、下水道等の生活基盤の整備を計画的に進めます。
- 空き家や公共施設の跡地等においては民間活力の導入を検討しつつ、多様な用途への活用により、地域の魅力創出を図ります。
- 農村集落の形態を残したままの住宅地においては、土地区画整理事業の実施や地区計画等の導入も検討しながら、必要に応じて道路の整備や新たな宅地の整備を図ります。
- リアス式海岸に点在する漁村集落では、道路拡幅や新たな道路整備を推進するとともに、道路幅員が狭く建築物の建て替えが困難な地区では、建築基準法緩和の可能性等も検討し、漁村集落の景観保全と地域コミュニティの維持に努めます。
- 平地部の水田と台地部の畑については、優良な農地の保全を図ることとし、地域の実情に応じて、道路、下水道等の整備が不十分な集落の生活環境改善に努めます。
- 市街地・集落地を取り囲む山林については、豊かな自然環境に触れて体験・交流する場として、ハイキングコースの整備等に努めます。

### 3 交通体系

- 臼杵南部地域と周辺地域とを連絡する国道 502 号は、交通混雑の解消や臼杵インターチェンジ周辺における交通利便性を活かした商業機能・観光機能の充実により、地域の魅力向上を図ります。
- 漁村集落を結ぶ（県）臼杵津久見線及び（県）大泊浜徳浦線においては、臼杵港及び臼杵市街地との連携強化や、集落地の居住環境及び防災性の向上を図るため拡幅・改良による整備を促進します。
- （県）川登臼杵線においては、臼杵地域と野津地域の連携強化を図るため、一部区間において拡幅・改良による整備を促進します。
- （都）野田戸室線においては、臼杵インターチェンジや市街地への接続性を高めるため、土地区画整理事業等の実施を検討しながら未整備区間の整備を推進します。
- 海岸周辺部における集落地については、災害発生時に迅速な避難が可能となる防災機能を有する道路が必要であり、狭隘区間の改良等により安全性・走行性の向上を目指し、整備充実を図ります。
- その他県道、市道についても、周辺地域との連携強化を図るため、必要に応じて計画的に拡幅・改良等を促進します。

## 4 公園緑地や自然環境保全

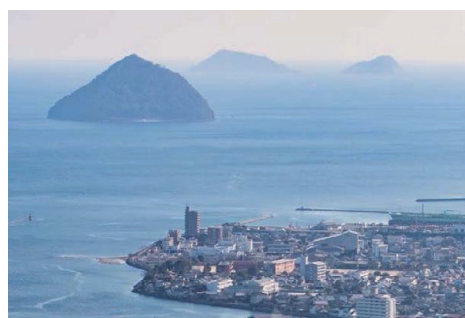
- 臼杵石仏公園については、国宝臼杵摩崖仏を訪れる観光客や市民が憩うための空間として位置づけ、四季を彩る木々や草花による緑化修景整備を図るとともに、未整備区域の整備を推進します。また、ゆるやかな時間を体感できる園路の整備や臼杵石仏公園に関する情報発信の促進により、各主体の協働により本市の魅力向上に努めます。
- 臼杵川上流においては、ホテル等の生息が確認されている場所も多く見られることから、水質の保全をはじめ周辺の自然環境の保全を図ります。
- 市内の中央部を流れる臼杵川については、親水性も高く比較的広い河川敷を有することから、市民にとって身近な水辺空間整備を促進します。



臼杵石仏公園

## 5 都市景観

- 市街地から眺望される山地の稜線や、津久見島、リアス式海岸等の景観を守るため、地域内の建築物や工作物を対象に、背後地の眺望を考慮した高さ制限を行い、今後も眺望景観の保全を図ります。
- 文化財資源である国宝臼杵摩崖仏は、次代へと引き継ぐため保全・活用を図るとともに、周辺の自然景観との調和により都市景観の魅力創出を図ります。



津久見島





# 臼杵南部地域の整備方針図



凡例	
	地域界
	用途地域界
	自動車専用道路
	主要幹線道路
	都市幹線道路
	都市計画道路 整備済
	都市計画道路 未整備 現道あり
	都市計画道路 未整備 現道なし
	鉄道
	複合商業業務地
	産業・物流施設地
	一般住宅地
	農業集落地
	山地・丘陵地
	公園
	河川
	防災拠点
	商業拠点
	交通拠点
	交流拠点
	観光拠点
	レクリエーション拠点

## 5 野津地域

### (1) 野津地域の現況と課題

#### 1) 野津地域の現況

- 野津地域は、本市の南部に位置し、野津川沿いに広がる平坦地や台地の周囲をなだらかな丘陵地・山地が囲む地形となっています。
- 平坦地や台地には水田等が広がり、周囲の山地と一体となって良好な田園景観を形成しています。
- 主な市街地・集落地は、野津庁舎周辺の比較的まとまった平坦地に形成されており、主な商業業務施設も野津庁舎周辺に集中しています。
- 吉四六ランドでは、研修・交流機能を備えた施設として整備が図られ、農業による地域活力の創造が推進されています。
- 国史跡下藤キリシタン墓地、国天然記念物風連鍾乳洞、渓谷に架かる石橋や五輪塔、九重塔等の文化財が点在しているほか、久保ん谷湧水等の景観資源が多数分布しています。
- 貸農園やグリーンツーリズム等による農業を活用した取組みを民間が主体となって実施しています。
- 小郡の丘では住宅地の開発により、定住人口が増加しています。
- 小郡の丘に隣接する野津東部の工業用地では、周辺道路の整備や企業誘致の推進を進めています。
- 閉校した小・中学校を様々な用途で利活用しています。

#### 2) 市民・中学生アンケート

市民	中学生
自宅からの避難場所を『知っている』方が多いものの、他の地域と比べると防災意識が低い	休日の買い物の行き先は『臼杵市外』と回答した方が多い
『若い世代の定住』、『病院・福祉施設の利便性』のニーズが高い	『店舗（大型商業施設、スーパー、コンビニ等）のニーズが高い
まちづくりにおいて『過疎が進む地域の活性化』、『新しい就業の場の整備』が重要	臼杵市のまちへの期待は『災害に強いまち』の期待が大きい

#### 3) 市民検討会の意見

項目	意見
活性化と魅力向上のための拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国道が交差する利便性、地域産物等の活用（農業産品販売・加工、観光案内、郷土料理等）</li> </ul>
住みやすいまちづくりによる移住者の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 貸し農園による来訪者の増加</li> <li>■ 公共交通機関の充実</li> </ul>
臼杵の魅力を活かした、観光客の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自然景観や観光資源に関する情報発信</li> <li>■ 自然景観を活かしたコースづくり</li> </ul>
人々が助け合う、災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 災害に備えた幹線道路の代替路線の確保（臼杵インターチェンジ使用不可への対応等）</li> <li>■ 大雨・土砂による自然災害防止対策</li> </ul>

## 4) 野津地域の課題

### ■ 都市防災に関する課題

- 野津川・王子川等の河川に沿って市街地が形成されており、大雨による冠水や幹線道路周辺における土砂災害への対応が必要です。
- 避難場所や避難経路に関する市民意識が他の地域と比較して低いことから、災害発生時の対応力向上が必要です。

### ■ 土地利用に関する課題

- 地域コミュニティの形成を図る交流拠点づくりを行い、これを活かした地域活性化を目指すことが必要です。
- 幹線道路沿道や中山間地にも小規模な集落が点在していますが、こうした中山間地の集落では、人口減少・少子高齢化による過疎地の活性化が必要です。
- 高齢化の進行等による農業従業者の減少に対応した後継者の確保や、耕作放棄地の活用が必要です。
- 国道 502 号と国道 10 号の交通利便性を活かしたまちづくりや、農業を活かしたまちづくりが必要とされています。
- 空き家・空き地・公共施設跡地等の低・未利用地の利活用について、今後も検討が必要です。

### ■ 交通体系に関する課題

- (県)川登臼杵線、(県)吉野原犬飼線は一部区間が狭隘道路となっており、臼杵地域と野津地域の連携強化を図るため、アクセス性の向上が必要です。
- 野津地域には鉄道が無いことや公共交通の利便性が望まれており、バス等による公共交通を充実させ、市内外へのアクセス性の向上を図る必要があります。

### ■ 公園緑地や自然環境保全に関する課題

- 吉四六ランドは、野津地域の核となる公園として、さらなる整備充実を図ることが必要です。

### ■ 都市景観に関する課題

- 地域内に点在している国史跡下藤キリシタン墓地、国天然記念物風連鍾乳洞や溪谷に架かる石橋や五輪塔、九重塔等の文化財については保全・活用に向けた取組みを実施しており、久保ん谷湧水等についても、地域の観光資源として今後さらなる整備・活用が必要となっています。



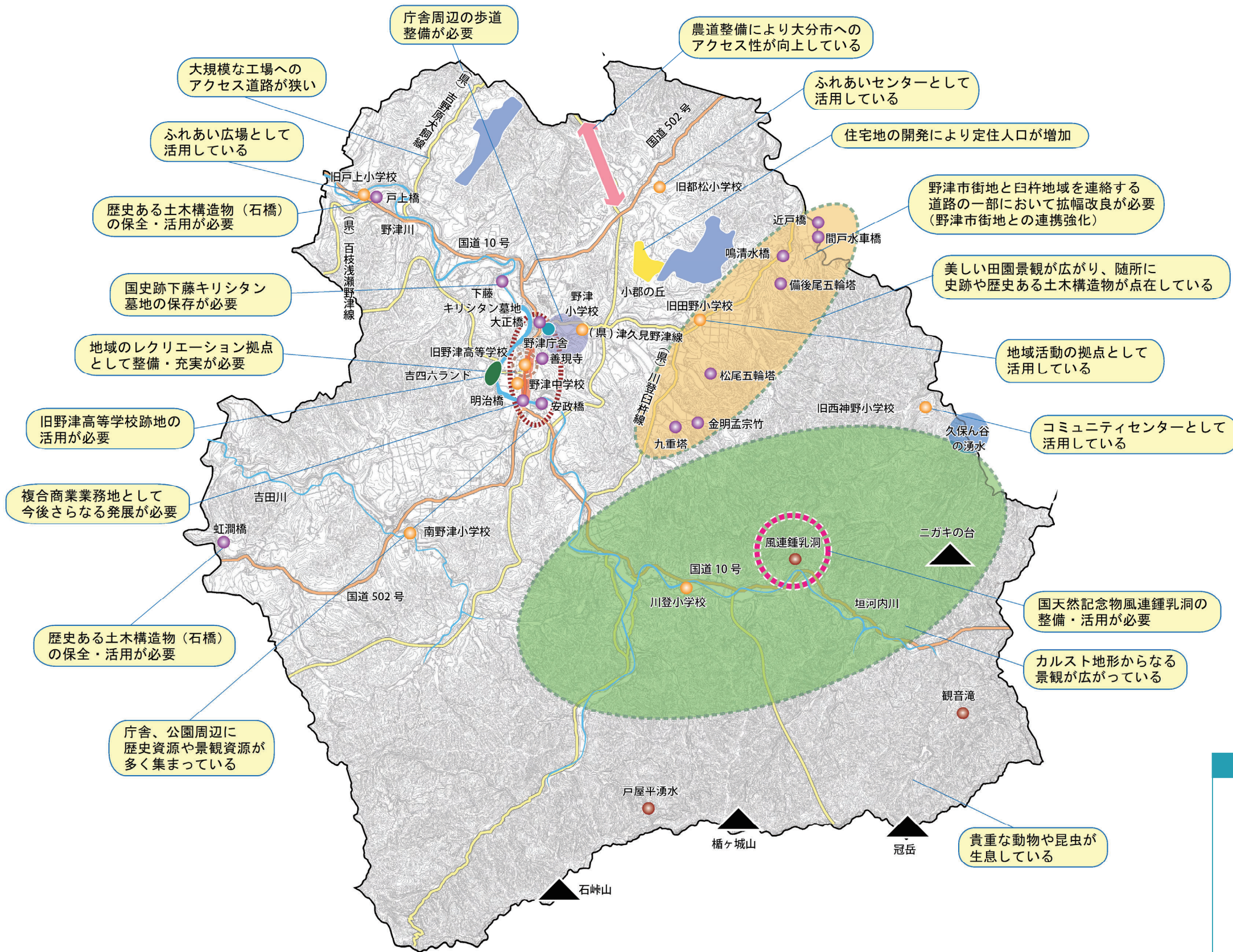
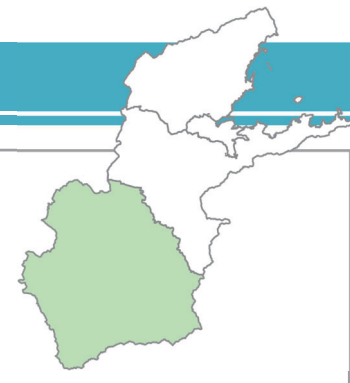
国史跡下藤キリシタン墓地



田園風景



# 野津地域の現況と課題



第3章  
地域別構想



## (2) 野津地域の将来像

のどかな田園地帯を中心とする野津地域は、市街地・集落地が幹線道路沿道や中山間地に点在する構造となっていますが、今後は、野津庁舎周辺の公共施設や商業施設等の持つ拠点性を高めることにより、地域内の歴史資源や観光資源へと回遊させるような地域構造を目指します。

また、隣接する周辺地域に連絡する連携軸の強化により、野津地域から地域外への円滑な移動や他都市から野津地域への円滑な移動ができ、通過する方々が地域に立ち寄る地域構造の形成を目指します。

野津地域では、地域の特性である「田園」や文化財等の「地域資源」を活かしたまちづくりを進めていくこととし、地域の将来像を以下のように設定します。

### ■野津地域の将来像

**自然の豊かさを感じる田園や歴史ある資源を活かした、来訪者が訪れたいくなるまち**

## (3) 野津地域のまちづくりの方針

### 1 都市防災

- 野津川・垣河内川・王子川等の河川は、浸水被害軽減に向けた河川改修等を促進します。
- 水害や土砂災害発生時に複数の道路ネットワークを確保するとともに、地域孤立を防ぐため、臼杵地域や他都市との地域間連携の強化を図ります。
- 山間部における土砂災害の危険性がある区域においては、土砂災害防止法に基づく特定開発行為の制限等による適切な土地利用誘導を図ることにより、危険性の軽減に向けた対策を行います。
- 野津庁舎は、災害予防や復旧・復興等の防災拠点とし、防災機能の充実を図ります。

### 2 土地利用

- 臼杵市野津市民交流センター周辺を交流拠点に位置づけ、市民や観光客等が交流できる場づくりを推進させ、地域活性化を図ります。
- 住宅団地「小郡の丘」では、団地内に緑を多く配置し、ゆとりある敷地構成とすることで、周辺の自然環境や田園環境との調和に努めます。
- 新生産拠点となる野津東部工場用地において、自然環境や住宅団地と調和する緑豊かな産業用地の創出と施設整備を進め、優良企業の誘致による雇用の場の確保を図ります。



- 野津庁舎周辺の中心業務地では、歩きやすいまちづくりをはじめ、日常的に利用しやすい環境整備を進めます。
- 国道 502 号（10 号）沿道の複合商業業務地では、地域住民の買い物利便性の確保を目的とし、国道が交差する利便性を活かしながら、商業施設、業務施設、沿道サービス施設など複合的な都市機能の集積を図ります。
- 中心商業地や中心業務地を取り巻く一般住宅地については、中・低層住宅地として良好な居住環境の保全・創出を図るほか、生活道路等の整備を推進します。
- 空き家や公共施設の跡地等においては民間活力の導入を検討しつつ、多様な用途への活用により、地域の魅力創出を図ります。
- 河川沿いの平坦地や台地上に広がる農地については、圃場、農道、用排水路、土地改良等の生産基盤整備を促進し、優良農地と棚田など独特な田園景観の保全を図ります。
- 今後、農業従業者の減少・高齢化がさらに進むことが予想されるため、後継者対策の充実とあわせて、グリーンツーリズムの推進等を行いながら、農業を軸にしたまちづくりへの展開を図るとともに、生産意欲の高い組織又は個人の農業参入等も検討しながら、優良農地の荒廃抑制に努めます。
- 農地周辺に形成された集落地においては、地域の実情に応じて生活環境の改善を進めるとともに、地域コミュニティの維持に努めます。
- 市街地・集落地を取り囲む山林については、良好な自然環境と景観を保全するとともに、持続的な林業育成に努め、優良竹林の再生と林業生産基盤の整備充実を図ります。

### 3 交通体系

- 野津地域と周辺地域を結ぶ国道 10 号、国道 502 号、及びそれらを補完する県道、市道等については、今後も必要に応じて拡幅・改良等の推進を促進します。
- （県）川登臼杵線においては、臼杵地域と野津地域の連携強化を図るため拡幅・改良による整備を促進します。
- （県）吉野原犬飼線においては、産業物流施設地の利便性向上を図るため拡幅・改良による整備を促進します。
- 中山間地の集落に連絡する道路については、災害発生時に道路の寸断が発生しないよう、平時から適切な維持・補修に努めます。
- 市街地・集落地内の生活道路については、地形条件や建物分布状況、さらに通学路等としての重要性等も踏まえながら、必要な区間から拡幅・改良を進めます。
- バス等の公共交通は、野津地域と周辺地域の連携強化を図るため、利用者のニーズを踏まえ利用促進を図るとともに、運行状況の適正化、デマンド交通等の導入により公共交通ネットワーク構築を図ります。



市道 大南野津線

## 4 公園緑地や自然環境保全

- 吉四六ランドについては、市民がスポーツ活動を行い、憩うための拠点として位置づけ、親子が週末の余暇を楽しめるような子供向け遊具施設や駐車場、その他体験学習施設の充実を図るとともに、幹線道路からの案内性向上や利用促進、池や周辺の山林も含めた維持管理の充実に努めます。
- 河川上流の一带では、ホタル等の生息が確認されている場所も多く見られることから、水質の保全をはじめ周辺の自然環境の保全を図ります。

## 5 都市景観

- 各地に点在する国史跡下藤キリシタン墓地、虹澗橋、九重塔等の文化財については、建造物や文化財そのものの保存・活用を図るとともに、散策路等を含めた環境整備を行い、周辺の溪谷や田園集落と一体となった景観形成を目指します。
- 国天然記念物風連鍾乳洞や久保ん谷等の周辺では、幹線道路からの案内性を改善するとともに、これらエリアを含む山林全体が豊かな自然環境に触れて体験・交流する場となるよう、必要に応じて広場やレクリエーション施設、遊歩道等の整備・充実に努めます。
- 野津川、垣河内川等の河川については、溪谷の景観を保全するとともに、市街地に近く広い河川敷を有する区間を中心として、歩道及び植樹の整備等を推進します。



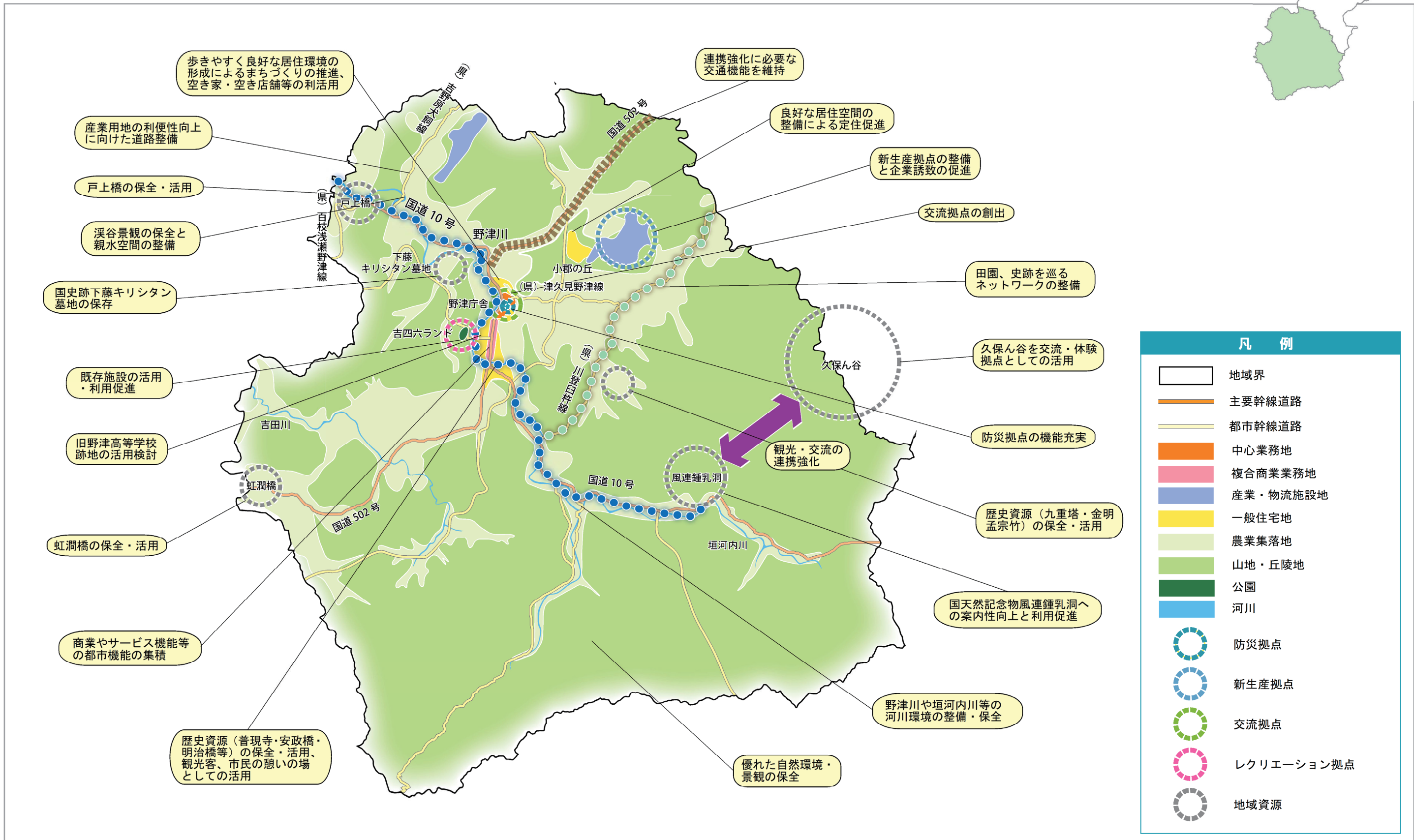
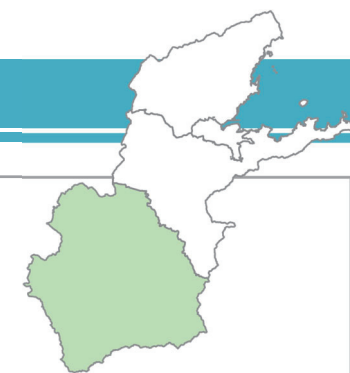
戸上橋



風連鍾乳洞



# 野津地域の整備方針図



凡例	
	地域界
	主要幹線道路
	都市幹線道路
	中心業務地
	複合商業業務地
	産業・物流施設地
	一般住宅地
	農業集落地
	山地・丘陵地
	公園
	河川
	防災拠点
	新生産拠点
	交流拠点
	レクリエーション拠点
	地域資源